

人々を守るセーフガーディング <第 1 回>

～子どものセーフガーディング勉強会～

昨今、国際協力の場において、NGO ワーカーによる被災者への性的搾取等の不適切行為や、団体による管理対応のあり方を疑問視する報道が相次いでおり、日本の国際協力業界においても、現状に対する認識と、問題一掃に向けた真摯な取り組みが一層必要とされています。子どもに関しては、既に海外でも、Child Safeguarding または Child Protection などと呼ばれる議論と実践が積み重ねられ、個人と組織の両方において取り組むべき責任が明らかになってきました。この機会に、日本でも業界全体でこの問題に向きあい、子どもにとって安心・安全な活動のための具体策や基準を取り入れていこうという声が多く聞かれます。

ついては、ワーキンググループの立ち上げも視野に入れつつ、有志による勉強会を開催していきたいと思えます。なお、最近ではセーフガーディングの対象をより広義に捉える動きもありますが、まずは先行的に子どもを対象とした取り組みから着手することを提案しています。この分野でのご経験を共有できる方、NGO ネットワークでの浸透を考えたい方、および自団体での制度導入を検討したい方も、ぜひご参集ください。

【目的】

▶業界全体でセーフガーディングに向きあい、子どもにとって安心・安全な活動のための具体策や基準を取り入れていく

【日 時】 2018年5月10日(木)15:15-18:00

【場 所】 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン事務所 (東京都 千代田区内神田2-8-4山田ビル4F)

【対 象】 JANIC 会員：マネージャークラス、事業担当者、人事職等

【参 加 費】 正会員：無料 団体協力会員：2,000円/人

【定 員】 20名

【企 画 者】 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 事務局次長・JANIC 理事 高井明子さん

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 子どものセーフガーディング推進担当 金谷直子さん

【申 込】 <http://ptix.at/TNVSvY>

【申込〆切】 5月7日(月)

【プログラム内容】

回数	日程	内容
第1回	5/10 15-18時	・呼びかけ団体からの提案趣旨 ・Child Protection Policy、Child Safeguarding Policy とは/各団体の現状と期待 ・背景と課題の整理/中長期課題とWGについての提案 ・今後の進め方について
第2回	6月予定	団体の取り組み状況や、期待とギャップの把握。先行的な取り組み例と課題の共有。

※第3回以降は、WG 立ち上げに向け、関心のあるメンバーによる課題整理や合意形成などを図っていくことを想定

【問い合わせ】 JANIC 山田・伊藤 jwg@janic.org

